

# GIA挑戦 魅力語る

高女高と  
大間々高  
並里さんオンライン講演

ビジネスのアイデアを競う「群馬イノベーションアワード(GIA)」で、2021年に大賞に輝いた伊勢崎商業高出身の並里璃王さん(慶応大2年)が11日、高崎市の高崎女子高、みどり市の大間々高に向けてオンライン講演した。両校の生徒がアイデアを生かす手段を学んだ。

間や「ビジネスの発想をどこから得るか」といった質問を投げかけた。並里さんは、自分が面白いと思った分野に取り組むのが良いとし、「仲間をつくって楽しみながら、社会が持つ課題の解決に向けて頑張る」とエールを送った。



門知識を持つ人のアドバイスを得られるといった利点、魅力を強調し、自分の知識の中で問題意識を持ちながらビジネスプランを考えてみることの重要性を説いた。

高崎女子高では、2年生10人が参加。並里さんはGIAに挑戦したきっかけや苦労、楽しかった記憶などを紹介した。経営者や専

門知識を持つ人のアドバイスを得られるといった利点、魅力を強調し、自分の知識の中で問題意識を持ちながらビジネスプランを考えてみることの重要性を説いた。

高崎女子高は、自ら考え、判断し、行動できる生徒を育成する県教委のSAH(スチューデント・エージェンシー・ハイスクール)に指定されている。丸橋覚校長は「生徒が自分のアイデアを生かすチャンスを知るきっかけになる」と話した。

(高橋和真)



GIA参加の意義について話す並里さん  
(モニター画面右上)